

現 實 證 明 書

昭和 年 月 日	右現證證明致します		死亡者と の關係	死亡區分 下記の處 であでは まる箇所 に○印を 附すこと	○ 戦 死 戦 傷 死 戦 病 死 其 他	死亡の原因 又は病名 發病年月日 及現認事由 死体の處置 其 他 備考事項	遺骨遺留品の 有無及び無 しの理由	保管 場所	死亡年月日時刻 昭和二〇年 月 日 午 時 分	死亡場所 北洋省 遼寧省 北サニニ	所屬部隊名 遺精號 第一〇七四三部隊	本籍地 遼寧省 遼陽市	遺族の住所 遼寧省 遼陽市	種 役 兵 船 砲	年 級 前 亡 死	死亡年月日時刻 年 月 日 午 時 分	死亡原因 後 亡 死	氏 名	國 有 名 船工 二 聯	遺 骨 氏 名
	現 任 住 所 船砲士兵第二五解隊第三	官 等 氏 名 陸軍 任 長																		

頭部貫通銃創

23

おぼえがき資料通報

軍 邦

索引隊

担任

地区

寫

A. 資料提供者 B. 未 冊 還 者 資 料

詳細な本人との関係	詳細な状態	場所	時期	所属部隊(職域又は住所)	届有無	経緯
第一中隊戦友 船舶機動輸送	乗機から昭和三十一年一月一日北サンフェルナンドに向い一月二日ポリナオ岬南西で空襲をうけ舟艇海没の時戦死したと思います。ポリナオには上陸しませんでした。	リン街ポリナオ岬 乙(甲) 丙 区	昭和二十年ノ月又日 乙(甲) 丙 分	船舶機動中 甲 乙	後編(現召) 現 兵種(職種) 船 階級(職名) 一	通信調査
所属 現住 松崎ノ甲	甲 乙 丙	甲 乙 丙	死	本籍 弟 甲 乙	氏名 年 月 日 生 甲 乙	時期 4/ 29 官公署 民生局厚生部世話課 調製
階級(職名) 兵長 氏名 本籍			摘要 乗機「跋竜」			

ポリナオ岬で死認定済名 17名 (5)ス

索引 有 無 済

戦 ム 中 収

番号

昭和33年度登録第1303号(5)

現認證明書

派遣 威第一六七部隊本部 隊勤務

陸軍上等兵

右者昭和二十年一月三日 カガヤノ州 陸軍病院に於て

トラリヤニ依り戦死(戦病死)セルコトヲ現

認ス

昭和二十二年九月二七日

現認者 北島 第一六七部隊本部附隊 陸軍 階級 軍曹

現任所

氏名

[Redacted]

印

[Redacted]

現認證明書

本籍地

現住所 今右

所屬部隊 マニラ航空廠 歳一五三二部隊

官氏名 陸軍一等兵 (死亡前)

死亡場所 比島ルノ多南カンフエルナンド附近

死亡區分 戦死

死亡日時 昭和二十一年九月九時指定

死亡傷(病)名 腹部(身通)銃創 (三共三)

留守擔當者住所

續柄氏名

妻

右證明する

昭和二十二年 三月 二十一日

現認者住所

元所屬官氏名

歳一五三二一部隊陸軍中隊長

航

(L)

7-11

水 階

所属部隊 比島派遣軍司令部 司令部

昭和十一年徵集木中二國兵隊士以一等

至 月 日 年

死亡年月日時分

昭和二十一年一月之七午前九時

死亡区分及傷病名

戦死 爆撃機に依り右腿部切断

死亡場所

ルソン島クラーク基地マルコト飛行場

死亡状況

死亡原因、関係

比島派遣軍司令部司令部戦友タリ

死亡前後、状況

昭和二十一年一月之七午前八時三十分頃敵機爆撃

8-12

状況不明者の資料届

本籍地

所属部隊固有名

建築勤務第三七中队

通稱号

第四八二九部隊

上等兵

昭和二十年一月四日午後四時マニラ市出発北部ハシ、町転進
中キニカワ所々々悪性マリアの爲約三日病の床に轉死す
遺骨遺留品不明

認定事由 所属部隊小队分隊班同し

鉄五四五二部隊

伍長



昭和二十二年 月

日 出公(第)

製)

死亡者調査表

昭和二十二年 月

地方世

日調製

者製調

部 長		課 長		科 長		進 部	
整理	番 號	所 屬 部 隊	固 有 名 義	職 種	兵 種	官 階	官 年 月 日
死亡者	死亡時	死亡時	死亡時	死亡時	死亡時	死亡時	死亡時
死亡年月日時	死亡年月日時	死亡年月日時	死亡年月日時	死亡年月日時	死亡年月日時	死亡年月日時	死亡年月日時
死亡區分	死亡區分	死亡區分	死亡區分	死亡區分	死亡區分	死亡區分	死亡區分
死亡直前の職務	死亡直前の職務	死亡直前の職務	死亡直前の職務	死亡直前の職務	死亡直前の職務	死亡直前の職務	死亡直前の職務
遺骨遺留品の状況	遺骨遺留品の状況	遺骨遺留品の状況	遺骨遺留品の状況	遺骨遺留品の状況	遺骨遺留品の状況	遺骨遺留品の状況	遺骨遺留品の状況
死亡場所	死亡場所	死亡場所	死亡場所	死亡場所	死亡場所	死亡場所	死亡場所
死亡原因	死亡原因	死亡原因	死亡原因	死亡原因	死亡原因	死亡原因	死亡原因
死亡者名	死亡者名	死亡者名	死亡者名	死亡者名	死亡者名	死亡者名	死亡者名
原籍	原籍	原籍	原籍	原籍	原籍	原籍	原籍
報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告
公 報	公 報	公 報	公 報	公 報	公 報	公 報	公 報
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號
未歸還届	未歸還届	未歸還届	未歸還届	未歸還届	未歸還届	未歸還届	未歸還届
有	有	有	有	有	有	有	有
無	無	無	無	無	無	無	無

○本表中捺印の欄以外は世帯部にて記入すること
 ○記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記載上の注意をよく読んでから記入の事)

現認証

本籍地

部隊名 第十航空情報隊

官等氏名 當持陸軍少佐

死亡年月日 昭和二十年十月廿八日

死亡場所 比島ハナノイロイロ市陸軍病院

死亡区分 五性三リヤ

死亡原因 肺炎

右現認証

本籍地

部隊名 第九航空情報隊

官等氏名 陸軍少佐

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

野砲兵第六聯隊

徵集年

官等級

上等兵

右ノ者昭和二十年一月初旬日 時

分隊を率いて於て糧秣徵集に依り戦傷
シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十年 月 日

所屬部隊

職名 野砲兵第六聯隊

官等級

修長

氏名

- 注意
- 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス
 - 二、職名之中、小隊長、砲手、操縦手等ハ詳記ス

42-11

現認證明書

地方世話部

昭和二十二年 七月 十一日 右現認證明致します		死者の保		死亡の時状況		死者		死亡年月日時		死亡場所		死亡事由		死亡区		留守宅住所氏名			
		戦友		昭和二十年一月十日		比島ルン		比島ルン		比島ルン		比島ルン		比島ルン		比島ルン		比島ルン	
現認者		本籍		現住所		所属部隊		官等氏名		種		種		種		種		種	
陸軍		大		大		大		大		大		大		大		大		大	

58-10



死亡現認證明書

昭和二十一年八月十日調製

階級	曹長
氏名	[Redacted]
出生地	[Redacted]
固有名	通稱 泉五三
死亡場所	オムツク山中
死亡年月日	昭和二十一年八月十日
死亡区介	戦死
受傷箇所	頭部貫通 迫撃砲弾破片創
疾病	なし
疾病年月日	なし

オムツク山岳地帯の戦死に於て迫撃砲弾を以て頭部貫通即死セリ

現認理由

記載上の注意

- 一 現認事由は當時の情形を詳細に記す
- 一 本證明書は三部作である
- 一 階級は必ず死亡前を記す
- 一 死亡区介は戦死の場合は多傷箇所と戦病死の時、病名発病年月日を記入する
- 一 死亡場所死亡年月日死亡区介の確度正確なる時は甲、概ね確実なる時は乙、疑わしい時は丙と其の下に記入する

證明者

元所属部隊	泉五三
本籍地	
現住所	[Redacted]
階級氏名	兵長 [Redacted]
印	[Redacted]
氏名の下に必ず印を押すこと	

死亡者調査表

姓名		昭之		高野		長		五	
年齢		20		20		20		20	
性別		男		男		男		男	
職業		兵		兵		兵		兵	
所属部隊		第1師団		第1師団		第1師団		第1師団	
死因		戦死		戦死		戦死		戦死	
死日		昭和11年11月10日		昭和11年11月10日		昭和11年11月10日		昭和11年11月10日	
死時		午後		午後		午後		午後	
死場所		戦場		戦場		戦場		戦場	
発見場所		戦場		戦場		戦場		戦場	
発見者		不明		不明		不明		不明	
備考		戦死		戦死		戦死		戦死	

本表は中絶の類に於ては第一世帯に於ては必ず記入すること
 記載上の注意並に遺留物は表面にありしものを必ず記入すること
 不備事項中判明したものには各所に「未詳」と記入すること

氏現本 僅籍現 姓名地認 證明書

[Redacted]

[Redacted]

昭和三年 十月 二日

10-10

所屬部隊 陸軍一七七六部隊

階級 陸軍一等兵

徵集機關 昭和三年徵集現役步兵

死亡年月日 昭和三年一月十日

死亡場所 北之川之河合

死亡区分 戦死

死因書 患傷病 年月日

現認事

右者之部隊 陸軍一七七六部隊

入隊年 昭和三年 戦死

遺骨の有無 十二

遺族現住所 氏名 [Redacted]

右相違無可事之證明書

現認者官守級 兵部 兵部

所屬部隊 陸軍一七七六部隊

昭和三年 十月 二日